

# 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会における意見と市の対応について

## 1. 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会の概要

八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会を開催し、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディア、市民等の代表から意見を聴取する。

## 2. 開催経過

- 第1回 平成27年5月22日 案件：策定に関する基本方針について  
第2回 平成27年8月7日 案件：総合戦略（素案）について  
第3回 平成27年9月30日 案件：総合戦略（原案）について

## 3. 主な意見内容と市の対応

※ 総合戦略の素案及び原案に係る第2回及び第3回懇談会の意見と対応を整理

### 【総論】

No.	意見内容（概要）	市の対応
1	・施策名と個別施策名が同じ内容となっているものがあり、より具体的な内容を記述し、アピール度や新しさを高める工夫をするべきである。（第2回）	・総合戦略の「主な個別施策」に関し、より分かりやすくしアピール度を高めるため、記載内容の充実を図ります。（政策推進課）
2	・自ら考え生み出していく力やビジネスを起こしていく力を養うことなど、育て生み出していく視点に立った施策を打ち出したほうが特徴的なものとなる。（第2回）	・総合戦略の「主な個別施策」の人づくりに係る施策について、より分かりやすくしアピール度を高めるため、記載内容の充実を図ります。（政策推進課）
3	・施策間で連携した事業がもっとあってもいいのではないか。（第2回）	・総合戦略では、第6次八戸市総合計画において重点的・分野横断的に取り組む戦略プロジェクトに掲げる施策を中心に位置付けており、施策や事業の相互連携に努めております。（政策推進課）
4	・事業実施に当たっては、優先順位をつけて効果の上がるようなやり方を心がけてほしい。（第3回）	・総合戦略は毎年度効果検証を行いながら事業を実施することとしており、取組の効果が最大限に発揮されるよう、まち・ひと・しごと創生の推進を図ってまいります。（政策推進課）
5	・各事業の問題点をいま一度洗い出し、よくするためにどうしていくのかを見せていきながら、市民等の参画のもとで進行管理されたい。（第2回）	・効果検証は、毎年度、市民の皆様等に参画いただきながら実施してまいります。（政策推進課）
6	・効果検証は数値で行うとされているが、あまり数値にこだわると本質を見失うように思う。数値が達成できなかった	・総合戦略は、数値目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度により毎年度効果検証を行うこととしており、市民の皆様

	場合は、単純な進捗状況報告ではなく、アイデア出しも重要となるため、効果検証の手法を検討する際、考えていただきたい。 (第3回)	様等の御意見も踏まえながら、適切に進行管理してまいります。 (政策推進課)
7	・各種団体との意見交換を通じて、よりよい意見・アイデアをつくり上げていくことが重要である。 (第3回)	・施策や事業の実施に当たっては、各種団体等の皆様に参画いただきながら、総合戦略の推進を図ってまいります。 (政策推進課)
8	・意見聴取を行った各団体等の意見への市の対応状況がわかるようにしてほしい。 (第3回)	・八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会やグループヒアリングにおける意見に対する市の考え方を公表します。 (政策推進課)

### 【基本目標 1 多様な就業機会を創出する】

No.	意見内容（概要）	市の対応
9	・定年の廃止や元気な高齢者の採用などにアドバンテージを与えるなど、意欲ある人材を働けるようにする施策を検討願う。 (第2回)	・国において、意欲と能力のある高年齢者の活躍の促進を図るため、事業主に対し、高年齢者雇用開発特別奨励金や高年齢者雇用安定助成金といった制度を設けております。 ・市としては、こうした国の制度等の周知を図りながら、高年齢者の雇用環境の改善について取り組んでまいります。 (雇用支援対策課)
10	・本県における新規高卒者の就職後3年以内の離職率は全国平均に比べ高い状況にあるため、離職防止対策を盛り込むべきである。 (第2回)	・無料職業紹介所の求人募集の強化や若年者職場定着セミナーの開催などにより、関係機関との連携強化を図りながら、中途離職の防止に取り組んでいるところであり、総合戦略に「若者の早期離職防止対策の推進」の施策を追加掲載します。 (雇用支援対策課)
11	・女性が家庭を持ちながら資格取得してスキルアップしていくことを支援するため、資格取得費用の助成制度があるとよい。 (第3回)	・若年未就職者等の主体的な職業能力開発を支援し早期就職を促進するため、厚生労働大臣指定教育訓練講座及び労働安全衛生法に基づく技能講習の受講料の一部を助成する「フロンティア八戸職業訓練助成金事業」を実施しております。 (雇用支援対策課) ・ひとり親家庭の父母への支援として、雇用安定と就職の促進を図るため、指定の職業能力開発講座を受講した方に自立支援教育訓練給付金として費用の一部を助成しております。 (子育て支援課)

【基本目標2 新しい人の流れをつくる】

No.	意見内容（概要）	市の対応
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市に集積するITテレマーケティング関連企業の仕事と親和性の高いシングルマザーのマッチングなど、八戸ならではの先鋭的な移住施策に取り組みたい。</li> <li>・子どもを預けて働きやすい環境として、企業内保育所を整備することなどがヒントとなるのではないかと。（第2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITテレマーケティング未来創造協議会と連携しながら、ひとり親世帯にも配慮した支援制度として、「ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業」を実施する予定です。</li> <li>・国において、事業所内保育施設の設置・運営等を行う事業主に対する「事業所内保育施設設置・運営等支援助成金制度」を設けており、市としては、ITテレマーケティング未来創造協議会等に対し制度の周知を図ってまいります。（雇用支援対策課）</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が高齢者宅の除雪ボランティアを行うなどの例もあるが、若者と高齢者、若者と子ども、子どもと高齢者の交流を図ることで様々な効果が考えられる。（第2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会参加を促進するため、地域の高齢者、児童、保護者が昔遊び等を通じてふれあい、世代間の交流を図ることを目的に、三世代交流事業を行っております。（高齢福祉課）</li> <li>・「元気な八戸づくり」市民奨励金制度や学生まちづくり助成金制度を活用した市民活動の推進、多様な人材の参加による「地域の底力」実践プロジェクトの推進などにより、世代間交流やボランティア活動の促進を図ってまいります。（市民連携推進課）</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに地域のことを知ってもらう取組は、高等教育だけではなく、初等教育・中等教育と連携して行われることが重要である。（第3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校における地域密着型教育や八戸圏域における広域的体験学習支援事業を通じ、児童・生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む教育活動を推進してまいります。（教育指導課）</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートのまちづくりは効果が目に見えづらいことやわかりづらい部分があることから、市民意見を採り入れ八戸らしい取組となるよう検討願う。（第2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸三社大祭や八戸えんぶり等伝統芸能の保存・継承、市独自の多文化都市八戸推進事業やアートプロジェクトが評価され、市は青森県で初めて、平成25年度に文化庁長官表彰（創造都市部門）を受章しており、一定の効果は出ているものと認識しております。取組の効果が見えにくいという点については、改善を図ってまいります。（まちづくり文化推進室）</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客が参考とする観光ガイドブックなど海外メディアへの露出度を高めることについて検討されたい。（第2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県による海外の旅行代理店及びメディアの招聘や、関係機関や事業者との連携による外国語ページでの情報発信など、当市の知名度向上につながる取組</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外メディアへの露出度を高めるため、八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録を好機と捉え、当市の様々な魅力をあわせ、商工会議所等とも連携し、横断的・戦略的に情報発信に取り組みたい。 (第3回)</li> </ul>	<p>を着実に実施してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外メディアへの露出度を高めるための横断的な情報発信の取組については、市、商工会議所、観光コンベンション協会等で組織するはちのへ観光復興委員会等で検討してまいります。 (観光課)</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸三社大祭を市の宝として存続させていくため、その保護対策について観光課と社会教育課が連携して取り組まれない。 (第2回)</li> <li>ユネスコ無形文化遺産にふさわしい八戸三社大祭に関する施設や仕組みづくり等について、庁内横断的な体制のもとで取り組まれない。 (第3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内関係課及び八戸三社大祭運営委員会等の関係団体との連携により引続き保存・伝承に取り組むとともに、今後の方向性について協議してまいります。 (観光課・社会教育課)</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸三社大祭の現行の開催日程は、市内の観光等関係者が誘客促進のため、本来秋祭りであったものを東北の夏祭りシーズンに移したものであるが、地域のアイデンティティーを大切にし、歴史の評価に堪えられるよう情報発信していくべきである。 (第3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸三社大祭の開催日程を含めた祭りのあり方については、これまでの経緯を踏まえつつ、八戸三社大祭運営委員会等の関係団体と意見交換してまいります。 (観光課)</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光面では、新幹線の函館開通に伴い通過駅の印象が生まれると考えられ、函館に行かれる方が八戸にも立ち寄っていただけるような魅力発信ができればいい。 (第3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線の函館開業を青森県内における新幹線第3の開業と位置付け、関係機関等と連携しながら、横丁や朝市など、八戸ならではの魅力を前面に出したPRに取り組んでまいります。 (観光課)</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後国際化が進むと思うが、学業から離れると英語に触れる機会が少なくなると感じており、日常会話レベルで市民が外国語に触れられる機会が増えてくれるとよい。 (第3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸国際交流協会と連携し、外国語講座や国際交流フェスタの開催等により、外国語を学ぶ機会や触れる機会の充実を図ってまいります。 (市民連携推進課)</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンド対応を図るため、ソフト面の充実や人材育成、組織づくりを進める必要がある。 (第3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光パンフレット等の多言語化やWi-Fi環境の整備などに対する支援策、並びに人材育成や組織づくりについて、関係機関と連携しながら検討してまいります。 (観光課)</li> </ul>
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸のアピール力を高めていくためには、この地域における統一的なブランドイメージの醸成に取り組んでいく必要がある。 (第3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸せんべい汁、いか、八戸前沖さばなどの食や、種差海岸などの観光資源を活用した付加価値の高い着地型旅行商品の提案等により、ブランドイメージの醸成につながるよう取り組んでまいります。 (観光課)</li> </ul>

【基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

No.	意見内容（概要）	市の対応
23	<p>・子どもの医療費の無償化など、思い切った施策が必要ではないか。（第2回）</p>	<p>・子どもの医療費制度の拡充は、子育て世帯の経済的負担軽減や子どもの健康の保持増進等に効果が期待されるものと認識しておりますが、その実施には多額の費用負担が発生することから、財政状況や他の子育て関連施策との優先順位等を考慮しながら、今後の方向性を検討してまいります。</p> <p>・なお、全国市長会を通じて、子どもが安心して医療が受けられるよう国による全国一律の制度の創設を要望しているところです。（子育て支援課）</p>
24	<p>・子育てサロンを運営する人材が高齢化してきていることや、民生委員不在の地域もあることを踏まえ、地域における人材育成が重要となると考える。（第3回）</p>	<p>・子育てサロンの関係者の意見を聞きながら、人材の育成や確保に係る支援策について検討してまいります。（こども未来課）</p> <p>・民生委員は地域福祉の重要な役割を担っていることから、町内会や各地区の民生委員児童委員協議会と連携して、不在地域の解消に取り組んでまいります。</p> <p>・今後とも、地域の実情に応じた適正配置や業務内容の見直し等を図るとともに、活動内容を市民に広報するなどし、民生委員が活動しやすい環境づくりを進め、人材の掘り起こしにつなげてまいります。（福祉政策課）</p>
25	<p>・不登校やニートの問題について、行政と市民活動団体の横のつながりのネットワークを構築して、就業支援につなげるなどしていく必要がある。（第3回）</p>	<p>・NPO法人が運営する「はちのへ若者サポートステーション」において、学校卒業若しくは中途退学又は離職後一定期間無業の状態自宅等に引きこもる15歳から概ね40歳までの若年就職困難者の職業的自立の支援並びに相談業務を実施しております。市としても、関係機関と連携を図りながら、ニート等の若年就職困難者の支援に努めてまいります。（雇用支援対策課）</p> <p>・小・中学校の児童生徒の不登校問題について、教育相談、集団適応支援、登校支援等を行っており、特に中学校3年生に対して、卒業後の進路について丁寧な相談支援に努めております。</p> <p>・また、必要に応じて医療・福祉等の関</p>

		<p>係機関と連携しながら不登校改善のための支援を行っており、今後も学校や関係機関と連携しながら、よりよい支援体制の構築を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(こども支援センター)</p>
26	<p>・待機児童はいないが、住んでいる地域の保育園への入園ができないことや、兄弟を同じ保育園に入れられないなど、そうした部分への支援が行えればよい。</p> <p style="text-align: right;">(第3回)</p>	<p>・保護者が希望する近隣の保育所への入所や兄弟児の入所については、認可基準内での定員を超えた入所や入所選考時に兄弟児入所の優先度を上げるための加点をするなど、出来るだけ希望に添えるよう努めております。</p> <p>・しかしながら、保育士不足や地域により需要が多く対応しきれない場合があることから、八戸市子ども・子育て支援事業計画に定める提供区域ごとに利用状況等を検証し、施設の定員増等の対応を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(こども未来課)</p>
27	<p>・ファミリーサポートセンターについて、中心市街地や地域の子育て支援センターで手続きができれば、より身近なものとなると思う。</p> <p style="text-align: right;">(第3回)</p>	<p>・今後、利用者のニーズを把握した上で、手続き上の利便性の向上を研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子育て支援課)</p>
28	<p>・子育て支援に関し、行政と市民活動団体がそれぞれで出来ること出来ないことを出し合いながら協議していく場が設けられることを希望する。(第3回)</p>	<p>・意見交換等を通じて市民活動団体との連携を図りながら、よりよい子育て環境づくりに努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(こども未来課・子育て支援課)</p>
29	<p>・結婚支援については、福祉だけではなく、男女共同参画、生涯学習とも連携しながら、肩の凝らないやり方ができればよいのではないかと。(第3回)</p>	<p>・結婚支援の取組に当たっては、自己研鑽の要素を含めた事業を行うなど、これまで出合いの場に一步踏み出すことにハードルを感じていた方々も参加しやすい仕組みを検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子育て支援課)</p>
30	<p>・八戸商工会議所でも人口減少対策をテーマのひとつに掲げており、また、個々の企業においても従業員の多子世帯支援や企業内保育施設の必要性等について話題が挙がっており、経済界の立場からも対策に参画できればよいと考える。(第3回)</p>	<p>・まち・ひと・しごと創生の推進に当たっては、行政の取組に加え、民間企業・団体など多様な主体による取組が期待されることから、取組の効果を最大限に発揮できるよう多様な主体との一層の連携を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(政策推進課)</p>

【基本目標 4 住み続けたいまちをかたちづくる】

No.	意見内容（概要）	市の対応
31	<p>・医療や介護だけでなく、健常時のシニア層を対象とした施策を盛り込むべきである。 （第2回）</p>	<p>・介護予防ケアマネジメント事業や介護・認知症予防センター事業などを通じ介護予防の推進を図るとともに、鷗盟大学運営事業やボランティアポイント事業などにより、高齢者の社会参加の促進を図っており、総合戦略に「高齢者の生きがいがづくり・社会参加の促進」の施策を追加登載します。 （高齢福祉課）</p>
32	<p>・総合戦略（原案）における施策「地域における健康福祉の充実」の内容は、青森県の目指す短命県返上の方向性とも整合するものであることから、「健康寿命の延伸」といったキーワードを盛り込んだほうがよい。 （第3回）</p>	<p>・八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」において、目指す姿の一つとして健康寿命の延伸を掲げていることから、施策名「地域における健康福祉の充実」を「健康寿命の延伸に向けた施策の充実」に変更します。 （健康増進課）</p>
33	<p>・「老人」という言葉は死語であると考えており、「老人クラブ」という名称については、今後、市が主導して変えてほしい。 （第3回）</p>	<p>・「老人クラブ」は老人福祉法の規定に基づき使用しているものですが、市内各地区の老人クラブの個別名称等について、八戸市老人クラブ連合会と協議しながら対応してまいります。 （高齢福祉課）</p>
34	<p>・がん医療に関し、緩和ケア病棟整備事業があるが、病気を持った方と家族の方が一緒に適切なメンタルケアを受けられることも必要である。 （第3回）</p>	<p>・市民病院では、がん相談支援センターを院内に設置し、患者さんやご家族からのがんに対する不安や悩みなどへの各種相談を実施しております。 ・また、患者さんにご家族の意思を尊重し、メンタルケアを含め満足度の高い緩和ケアを提供できるよう、緩和ケア病棟の整備に向け引き続き検討してまいります。 （市民病院管理課）</p>
35	<p>・地域の防災力を強化するため、一人でも多くの防災士を育成することから、自主防災組織の会長だけでなく、企業からの推薦により資格取得費用を助成する制度があってもよいのではないか。 （第3回）</p>	<p>・防災士の資格取得助成制度は、まずは各地域の防災力の強化を図ることを目的としており、企業の推薦等による資格取得助成制度については、今後各地域の状況をみながら検討してまいります。 （防災危機管理課）</p>
36	<p>・東北人の気質からか、当市の優位性・可能性について、大したことではないと謙遜する市民が多いと思う。そこで、市民一人ひとりが認識と自信を持ってこの地域の良さを発信していく取組を何かできないか。 （第3回）</p>	<p>・今後、市内外に向けた当市の魅力の戦略的な情報発信や、市民の当市に対する誇りや愛着心の醸成を図るため、シティプロモーションを推進してまいります。 （広報統計課）</p>